



水道と下水道

の歩み

すいどう あゆ
水道の歩み

昭和29年	2月	池田市から受水し、給水開始
昭和33年	1月	松山浄水場が、自己水源による給水開始（平成元年10月廃止）
昭和39年	3月	高芝浄水場が、給水開始（現高芝水源）
昭和42年	3月	多田グリーンハイツ水道事業給水開始（民営）
	4月	滝山浄水場が、給水開始（平成元年10月廃止）
昭和45年	4月	清和台水道事業給水開始（民営）
昭和47年	5月	鶯の森専用水道給水開始（民営）
昭和49年	4月	伊丹市から受水し、北部暫定給水を開始
	6月・7月	多田地区、東谷地区暫定給水開始
昭和55年	3月	久代浄水場完成
昭和57年	4月	一庫ダム竣工式
	10月	兵庫県営多田浄水場が完成し、受水開始
平成6年	8月	猪名川流域の異常渇水で渇水対策本部を設置
平成7年	1月	兵庫県南部地震対策本部設置（約7,000戸断水）
平成10年	6月	水道広報誌「かわにしの水道」を創刊
平成14年	8月	猪名川流域の異常渇水で渇水対策本部を設置
平成21年	3月	川西市水道ビジョン策定
平成23年	3月	東日本大震災の被災地へ応援給水
	4月	組織統合により上下水道局としてスタート
		災害備蓄水きんたくんの力水を3万本作製
	6月	上下水道局広報誌「かわにしの上下水道」を発行
平成26年	7月	水道通水60周年記念式典を開催
	8月	集中豪雨の被災地丹波市へ応急給水
平成29年	6月	上下水道局広報誌「かわにし水道・下水道」を発行
平成30年	4月	滞納整理及び窓口業務委託民営化
	7月	西日本豪雨で断水した広島県へ給水タンク車で応援給水
平成31年	4月	久代浄水場の運転管理業務委託民営化
令和元年	5月	川西市新水道ビジョン策定
令和2年	12月	猪名川流域の異常渇水で渇水対策本部を設置
令和3年	9月	和歌山県水管橋崩落事故の応急給水
令和4年	7月	災害備蓄水「川西市のもしもに備えた優しい水」にリニューアル



下水道の歩み

昭和40年	5月	猪名川流域下水道事業に参画
昭和44年	4月	火打前処理場稼働
昭和49年	8月	公共下水道事業供用開始
	10月	公共下水道通水式及び前川雨水ポンプ場完成
		小戸、小花、美園町など供用開始
昭和55年	10月	火打前処理場管理棟施設完成、稼働
昭和56年	3月	加茂雨水ポンプ場完成
昭和60年	4月	萩原台、湯山台、鶯台供用開始
	9月	火打前処理場汚泥焼却炉施設完成
平成元年	7月	多田グリーンハイツ、清和台供用開始
平成9年	6月	大和団地供用開始
平成10年	5月	特定環境保全公共下水道事業供用開始
平成17年	12月	火打前処理場休止
平成23年	3月	火打前処理場廃止
平成25年	7月	雨水貯留タンク設置助成制度を開始
平成26年	3月	川西市下水道ビジョン策定
令和2年	3月	川西市新下水道ビジョン策定

